

第 51 回考古学研究会東京例会

特集「古墳時代前期前半の東日本を考える」

【趣旨】 2019 年 10 月、明治大学博物館において、4 世紀前半代の良好な古墳出土資料群として知られる滋賀県雪野山古墳の主要な出土遺物（国指定重要文化財を含む）が、東日本で初めて展示・公開されます。雪野山古墳が築かれた古墳時代前期前半代は、出現期古墳の問題も絡んで多くの議論が行われています。今回は、古墳出現期から雪野山古墳の時代の関東及び東日本の様相について、土器や墳丘、最新の発掘調査事例を含めた多様な視点から考えます。なお、昼休憩時に例会参加者を対象にした雪野山古墳展の展示解説を、展示主催者の東近江市のご協力により特別開催します。

【開催日時】 2019 年 10 月 19 日（土）11：00～17：00 （受付開始 10：30）

【会場】 明治大学駿河台キャンパス 12 号館 10 階 2103 教室（190 名収容）
JR 御茶ノ水駅より徒歩 5 分、地下鉄御茶ノ水駅・新御茶ノ水駅・神保町駅より徒歩 10 分以内
https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html
会場建物についてはこちら
https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html

【内容】

11：00～11：10 開会挨拶、趣旨説明

11：10～11：50 報告 1 「土器編年からみた房総と周辺の前期古墳」
市原市埋蔵文化財調査センター 小橋健司

* 11：50～13：20 昼休憩

< 12：30～13：00 博物館特別展示室で東近江市による雪野山古墳展の展示解説 >

13：20～13：50 遺跡調査報告「前橋市・小島田八日市古墳の調査－赤城山南麓の前期古墳」
前橋市教育委員会 並木史一

13：50～14：30 報告 2 「近畿からみた東日本の前期古墳と土器」
東京国立博物館 山本 亮

* 14：30～14：40 休憩（10 分）

14：40～15：20 報告 3 「古墳時代の列島東部の様相と独自性」
茨城大学 田中 裕

* 15：20～15：35 休憩・討論設営（15 分）

15：35～16：50 討論（75 分）

司会：西川修一（神奈川県立旭高等学校）、パネリスト：報告者 3 名

16：50 閉会挨拶、終了

【参加費】 資料代 一般 500 円、学生 300 円（考古学研究会員は各 100 円割引）

* 申込み不要。学生や、会員以外の方でも参加できますので、お気軽にご参加ください。

* * 問い合わせ先： 03-3296-4365（ファクスのみ） 忽那（明治大学博物館）まで